

事業番号	02 04 02	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	並行在来線対策費			担当課	部局	企画部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	交通政策課新幹線・在来線企画室	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 1 新幹線の整備促進		E-mail	tetsudo@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	平成26年度末の北陸新幹線金沢延伸により、JR東日本から経営分離される長野以北並行在来線の安定的な経営を確保する。自分たちの鉄道(マイルール)という意識を醸成し、住民が主体となり、地域全体が継続した利用促進に取り組む体制を構築する。経営主体となるしなの鉄道において初期設備投資、開業準備等を着実にを行い、新幹線金沢延伸時の開業を万全なものとする。成果目標:鉄道の営業キロ数750.2km(H24)→780.1km(H29)		
現状	○平成24年3月に「長野以北並行在来線経営基本計画」を策定し、同年4月にしなの鉄道が経営引受けを決定した。 ○しなの鉄道では、平成24年4月に「長野以北開業準備室(現・北しなの線開業準備室)」を設置し、開業に向けた初期設備投資及び開業準備に取り組んでいる。		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他() 沿線市町と連携し、並行在来線の維持を図ることは、新幹線着工時からの県の責務である。		

事業内容	① 成果目標(H24)				
	開業までのスケジュールに沿って、着実な初期設備投資及び開業準備に取り組む。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
長野以北並行在来線対策協議会等負担金	負担金	・需要予測調査の実施 ・利用促進に向けた、勉強会、ワークショップ等の開催	17,271	16,652	185
長野以北並行在来線開業準備事業費補助金	補助金	・初期設備投資、開業準備への補助	0	51,356	301,097
長野以北並行在来線対策経常事務費	直接	・職員旅費等	800	800	800
合計			18,071	68,808	302,082

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	329	9,114	18,071	302,082
	補正予算	0	0	51,356	
	合計(A)	329	9,114	69,427	302,082
	Aの財源				
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	215,000
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	329	9,114	69,427	87,082
決算額(B)	329	8,596	68,808		
概算職員数(人)	0.20	0.20	0.40	0.40	
概算人件費(C)	1,652	1,652	3,303	3,303	
概算事業費(B(A)+C)	1,981	10,248	72,111	305,385	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	

目標に対する成果の状況	「長野以北並行在来線経営基本計画」に基づき、開業までのスケジュールに沿って、初期設備投資及び開業準備に取り組んでいる。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成26年度末に長野以北並行在来線が経営分離されることから、しなの鉄道が円滑に経営を引き継げるよう、「長野以北並行在来線経営基本計画」に基づいて、開業に向けた準備を着実に進める必要がある。
---------------------	---